

情報産業分野への誘導に向けたセミナーの実施について

【背景】

○ジェンダーギャップを背景としたコロナ下の女性不況対策の一環として、安定した雇用の確保、経済的自立を促すために、女性の非正規雇用の割合が高い産業から、成長が期待できる情報産業分野へのシフトを進めていくことを目的としている。

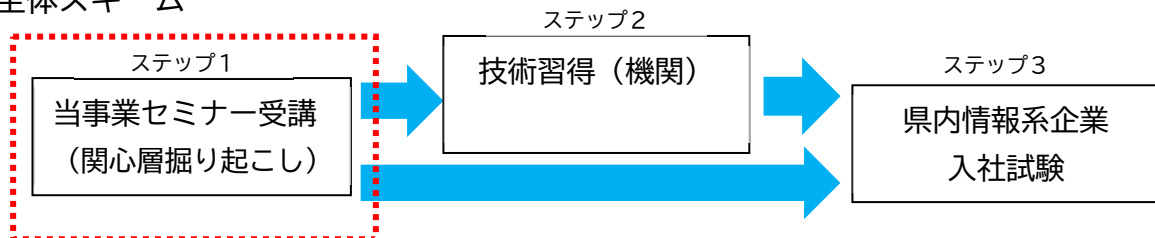
○このことを通して、女性の活躍（継続就業、キャリア形成）を推進していく。

○地場企業から「情報系の学部、学科以外の人にとっては情報分野への就業には意識のハードルがある。例えば、プログラマー以外の営業職等でも求人している。また、求人しても人が来ない」との意見があったことから、このハードルを下げて、地場企業への就業につなげることをねらいの一つとしている。

○情報産業分野への関心層を掘り起し、人材確保の裾野（就業分野の視野）を拡大。

【内容】

○全体スキーム



◆ステップ1：当事業セミナーの実施

◆ステップ2：技術習得（機関）の例を後掲

◆ステップ3：地場企業からも「就業につながる見込みはある」とのコメント

○実施時期

第1回

- ・ 8月下旬：募集開始
- ・ 9月下旬：セミナー開催

○以降全4回程度実施

○開催場所：ウーマンズジョブほっとステーション セミナールーム（西洋館 M2F）

○受講定員：会場で各8名程度（オンラインの併用も検討）

○対象（想定）：ウーマンズジョブほっとステーション利用者等

○講師（案）

- ・ 県情報産業協会から講師の派遣をお願いしたいと存じます。
- ・ 謝金と旅費をお支払いいたします。

○セミナーの構成のイメージ

- ・ 県内の情報分野における女性活躍推進企業の紹介
- ・ 企業が求める人材、職種の例示（例：プログラマー、営業職）
- ・ 情報系企業に勤務しているロールモデルの紹介※1
- ・ 情報系企業への就職までのステップの提示※2

※1 紹介についてご協力をお願いしたいと存じます。
（講師と同じ企業の女性社員の方を想定）

※2 作成についてご協力をお願いしたいと存じます。

○セミナーで伝えたい内容

＜情報産業分野の魅力・解説＞

- ・ 情報分野ってこれからどうなるの？
- ・ 業界のイメージと現実は、実際どう違うのか確認しよう（求める人材、働き方など）
- ・ 情報産業分野で成長する県内企業の紹介
（女性活躍企業、ロールモデルの紹介、働き方紹介）
- ・ 初心者でも就職できる仕組み
- ・ 手に職がつくので就職先が見つけやすく、女性でも働きやすい
- ・ 営業職を希望して入社して、現在は技術職で働いている
- ・ リターンが多い（都会で働いていたが、地元に戻りたいという方）
- ・ 専門学校などの出身の人や、始めからOJTの人もある
- ・ システムはどこでも必要とされているものなので色々な業界と関わって楽しい
- ・ 業界としての需要は常にある
- ・ 完全テレワーク可能

<動画を用いた職場見学>

- ・ オフィスの様子
- ・ 在宅ワークの様子

<技術習得の例の紹介（※ステップ2）>

- ・ MOS（マイクロソフト資格）
- ・ 専門学校（諫早コンピューターカレッジ、メトロ IT ビジネスカレッジ）、高等技術専門学校、ポリテクセンター、ハローワーク、商工会議所等経済団体

<質問、企業見学、面談（希望者のみ後日など）（※ステップ3）>